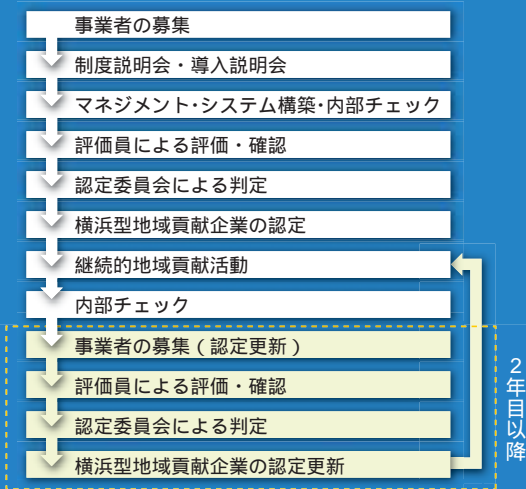


認定までの流れ 2年更新制



2年目以降

評価方法

地域貢献活動への取組状況について（地域性評価）

項目ごとに地域貢献活動への取組状況と地域性基準を満たしているかを評価します。

【評価項目】

項目		項目	
必須 重要	コンプライアンス	一般	財務・業績
	雇用		労働安全衛生
	環境		消費者・顧客対応
	品質		情報セキュリティ
	地元活用・志向		
	地域社会貢献		

【地域性基準】

次のいずれかの基準を上記評価項目ごとに1つ設定し、達成状況进行评估します。

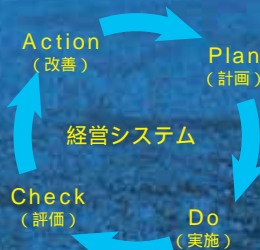
地域性比率：取組みの対象者（従業員、顧客、取引先等）のうち、横浜在住・所在の割合が50%以上

地域限定性：50%以上ではないが、横浜在住・所在の対象に限定した取組みを行っている

地域志向性：横浜という地域特性・文化等を重視した取組みを行っている

システムの構築状況について（経営システム評価）

地域貢献活動を継続的に取り組むための経営システム（仕組み）が構築されているかどうかを評価します。



ヨコハマの宝！

横浜型地域貢献企業を応援します。

募集期間

通年募集
(申込書等は、<http://www.idec.or.jp/csr/>より取得できます)

募集要項

対象企業 この認定制度にご興味、ご関心のある次のいずれにも該当する事業者（法人、組合又は青色申告事業者）が対象です。

- 横浜市内で事業活動を行う企業等であること
- 横浜市内に本社、または事業所を有すること（事業所単位での申込みも可能です）
- 横浜市内で1年以上継続して事業を営んでいること（資本金・従業員数等での制限はありません）
- 横浜市税を納付していること

申込方法 募集期間内に、次の書類をFAX・郵送・持参で提出してください。

提出書類 横浜型地域貢献企業認定応募申込書
企業概要書
発行後3か月以内の商業登記簿履歴事項全部証明書
(ただし、事業所単位の申込であり応募事業所が支店登記を行っている場合は、当該支店の所管法務局が発行するものも可)
横浜市税に関する納税証明書または領収書の写し
(最近3か年分。ただし、当該事業所の設置から3年を経過していない場合は、設置から納期の到来している年分)

書類提出先 財団法人横浜企業経営支援財団 横浜型地域貢献企業支援事業推進本部あて
〒231-0011 横浜市中区太田町2丁目23番地
横浜メディア・ビジネスセンター7階

認定にかかる費用 10万円（更新は5万円）

- 従業員数10人未満の事業者 自己負担分：3万円
 - 従業員数10人以上の事業者 自己負担分：5万円
- 認定手数料は10万円ですが、平成21年度は横浜市からの補助があります。補助金の請求や受領については、当財団に委任させていただきます。

(2009年8月31日現在)

協力

横浜商工会議所
横浜市立大学 CSR センター LLP
NPO 法人横浜スタンダード推進協議会
横浜市経済観光局 経営・創業支援課

お問合せ

財団法人横浜企業経営支援財団 横浜型地域貢献企業支援事業推進本部
TEL. 045-225-3711 FAX. 045-225-3738

<http://www.idec.or.jp/csr>



YOKOHAMA

株式会社 野毛印刷社

地域貢献企業認定制度

「信頼」と「ネットワーク」で結ばれる豊かな市民生活の実現を目標に、横浜市民を積極的に雇用している、市内企業との取引を重視しているなど、地域を意識した経営を行っている企業で、本業及びその他の活動を通じて、障がい者雇用、出産・育児サポート制度、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる企業等を、一定の基準（横浜型地域貢献企業認定規格）を基に「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する制度です。

認定について

各事業者の取組内容を評価・確認し、認定委員会で認定します。認定は、取組（評価）内容に応じ、3段階で認定します（基準に満たない場合は認定されません）。

認定企業への主な支援

- 認定証・マークの付与
- 認定企業間のネットワーク構築支援
- 認定企業限定セミナーの実施
- 横浜市・(財)横浜企業経営支援財団ホームページ等による認定企業の広報支援
- 融資制度「企業価値向上資金（地域貢献企業支援）」の利用
 - 利率：1.9%以内又は2.1%以内
 - 融資期間：7年
 - 限度額：8,000万円
 - 保証料率：横浜市信用保証協会所定（「最上位」認定を受けた企業は全額免除）
- 融資については金融機関及び信用保証協会の所定の審査があります。

認定期間

認定日から2年間有効です。
（認定後、2年ごとに更新審査を受けていただきます。更新をしない場合は認定の効力は消滅します。）

認定費用の補助や保証料の免除は、毎年度の横浜市の予算の範囲内となります。



認定証

認定企業紹介



野毛印刷

Noge Printing Corporation

【所在地】横浜市南区新川町 1-2

【事業内容】印刷業

【従業員数】135名

地元横浜で創業60余年。
野毛印刷は、コミュニケーションのさらなる機能性を追求します。

野毛印刷は、1948(昭和23)年に中区野毛町にて創業。以来横浜の地で60余年、「More Effective Communication」を経営理念に、長年培った印刷技術をベースとした、新たなデジタル技術やビジネスモデルへの取り組みを進めています。

また、真の企業市民として、企業を取り巻く地域への貢献をめざすとともに、「たいせつなものをもっとたいせつに」のコンセプトのもと、環境保護の考えに基づいた事業活動「eco noge」を展開。設備・ワークフローを構築。印刷に使う紙やインキ・加工方法などを「環境にやさしい仕様」としてご提案しています。

私たちは、常にお客さまの期待に応え、ご満足いただける製品とサービスの提供に努め、これからの時代にあった、よりよいコミュニケーションを実現してゆくことで、皆さまのお役に立ちたいと考えております。

特徴的な取り組み

ひとに優しい街づくり

当社では「自然環境への配慮」のみならず「社会環境への配慮」も重要なテーマと捉え、サービスを展開しています。

カラーユニバーサルデザイン

どなたにも分かりやすいカラーユニバーサルデザインによる色使いは、公共の場で使われる印刷物を中心にニーズが高まっています。

学生生活 GUIDE

犯罪やトラブルに付いて正しい知識を身につけ、安全な学生生活を送る一助としてお送りする小冊子です。



大規模地震対応マニュアル

会社・学校・自治体など、様々な方々にご利用いただける携帯サイズのリーフレットです。もしもの時の安全確保にお役立てください。



UD フォント

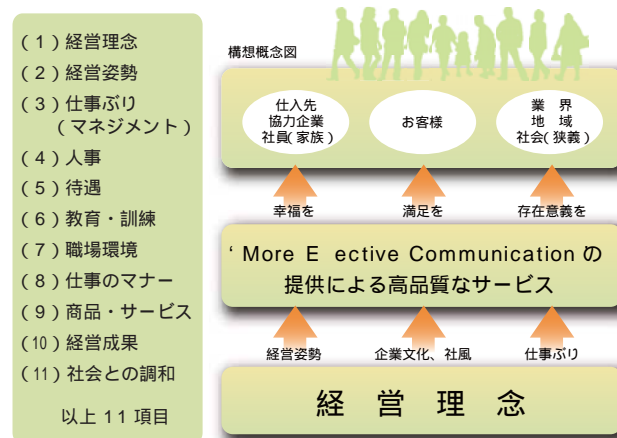
当社ではユニバーサルデザインの考え方に基く印刷物作成の際には、より多くの人に視認しやすく、判読しやすいフォントとして、モリサワ UD フォントを採用しました。

野毛印刷は、印刷を核とした情報産業の担い手としてより効果的なコミュニケーションの実現を目指しています。

当社はお客様、業界、地域、社会（狭義）、仕入先、協力企業、社員（家族）のために存在し、支えられていると捉え、当社を支えていただいておりますステークホルダーに対する責任を果たすとともに、信頼される企業であり続けたいと考えております。

目指す企業像（Vision2015）

私達の存在意義と果たすべき社会的責任を明確にして活動しております。



環境印刷の推奨

- ・ 廃液、CO₂、VOC の排出抑制効果のある水なし印刷を標準化
- ・ VOC を出さない NOVOC インキの推奨
- ・ 管理された森林から生まれた FSC 認証紙の推奨

これらを採用した印刷物には「環境ラベル」を付けることが可能です。消費者に正しい情報を伝える重要なコミュニケーションツールとして活用を推奨しています。



森林保護の支援につながる「FSC(森林管理協議会)」の「COC認証」を取得しています。